

講演会「デートDVと映画の力 ～裁判員裁判時代のジェンダー教育～」

講師：泉悦子氏（映画監督）

日時：2013年3月16日（土）17：30—20：00（17：15開場）

場所：小山市立生涯学習センター ホール（小山駅横ロブレビル6F）

参加費：無料（どなたでも参加できます）

司会：平山 真理（白鷗大学法学部准教授）

第1部：ビデオ上映 17：45—18：15

内閣府PRビデオ「根絶！夫からの暴力」（泉悦子監督2004）

第2部：講演&司会とのトーク 18：20—19：45

フリートーク（15分）

「デートDV」って聞いたことありますか？変な言葉ですが、恋人の間で一方が一方に暴力を振るうことです。わが国の「DV防止法」は結婚しているカップルの間のDV（ドメスティック・バイオレンス）の被害者は保護されますが、デートDV被害者は保護の対象にならない、という問題があります。暴力の被害は辛いものです。それが自分を大切にしてくれるはずの人（恋人）からのものであれば一層、被害者の心に深い傷を残します。私たち社会はデートDVの問題にどう対処して行けばいいのでしょうか？一緒に考えませんか？

講師プロフィール：いずみ・えつこ

早稲田大学第一文学部演劇専修卒

（株）記録映画社入社、上野耕三監督に師事しドキュメンタリー映画の演出を学び独立

シナリオ研究所にて桂千穂氏に師事し、劇映画のシナリオを学ぶ

100本以上の官公庁、企業のPR映画、ビデオの脚本、演出を手がける

2008年、企画、製作、監督、脚本、編集のドキュメンタリー映画『心理学者原口鶴子の青春』で山路ふみ子映画賞福祉賞を受賞

2011年 長編劇映画『エクレールお菓子放浪記』の脚本執筆

現在、デートDVをテーマにした劇映画を準備中

（以上、テス企画HPより）

*本講演会は、2012年度文部科学省科学研究費補助金（若手B）「性犯罪と裁判員裁判の研究—裁判における課題と量刑・処遇・対策へのインパクト」（研究代表者：平山真理）の補助を受けて行われます。